

対象レコード数: 310

抽出期間 2021/04/01 ~ 2022/03/31

「手術部報告」を含む

所属部門: すべて	2021年度
職種: すべて	期間: 2021/04/01~2022/03/31
発生場所: すべて	報告数: 310件
発生場所詳細: すべて	施設数: 65施設
患者の確定: すべて	平均実稼働病床数: 627床

汚染した体液:	☐ 1 血液・血液製剤	☐ 3 痰	☐ 5 脳脊髄液	☐ 7 胸水	☐ 9 尿	☐ 99 その他
● And ○ Or	☐ 2 吐物	☐ 4 唾液	☐ 6 腹水	☐ 8 羊水	☐ 10 体液	☒ 指定なし

汚染組織・状態:	☐ 1 無傷な皮膚	☐ 3 眼	☐ 5 口	☒ 指定なし
● And ○ Or	☐ 2 傷のある皮膚(皮膚炎・擦り傷等)	☐ 4 鼻	☐ 99 その他	

汚染時の状況:	☐ 1 防備していない皮膚・粘膜に触れた	☐ 3 防衣又は防具を浸透して触れた	☒ 指定なし
● And ○ Or	☐ 2 防衣の隙間等の皮膚に触れた	☐ 4 白衣などの衣類を浸透して触れた	

汚染時の防衣・防具:	☐ 1 手袋なし	☐ 6 側面保護眼鏡	☐ 11 ガウン(プラスチック/ビニール)
● And ○ Or	☐ 2 一重の手袋(ゴム/ビニール)	☐ 7 フェイスシールド	☐ 14 エプロン(プラスチック/ビニール)
	☐ 3 二重の手袋(ゴム/ビニール)	☐ 8 手術用マスク	☐ 12 検査実/験衣(布地)
	☐ 4 ゴーグル	☐ 9 眼保護付手術用マスク	
	☐ 5 眼鏡	☐ 10 手術用ガウン	☐ 99 その他 ☒ 指定なし

汚染理由: すべて

汚染時間: すべて

接触量: すべて

第一汚染部位: すべて

HBs抗体: すべて

緊急処置時汚染: すべて

注:それぞれの項目の集計において「記載なし」のデータは除いて集計してあります。(経費、日数を除く)

2. 部門

1	医師部門	131	42.8%
2	病棟部門	93	30.4%
3	外来部門	8	2.6%
4	中材・手術部門	28	9.2%
5	検査部門	11	3.6%
6	放射線部門	15	4.9%
99	その他	20	6.5%
合計		306	

3. 職種

1	医師(常勤・非常勤を含む)	93	30.4%
2	レジデント・研修医	36	11.8%
3	医学生	2	0.7%
4	看護師	136	44.4%
7	看護学生	1	0.3%
8	臨床検査技師	10	3.3%
9	放射線技師	6	2.0%
11	歯科衛生士	1	0.3%
12	清掃・洗濯・廃棄等の医療関連サービス(委託業者含む)	1	0.3%
14	助産師	7	2.3%
16	臨床工学技士	6	2.0%

合計

306

医師診療科

1	内科	25	37.3%
2	外科	5	7.5%
3	麻酔科	3	4.5%
4	整形外科	2	3.0%
6	形成外科	4	6.0%
8	産婦人科	6	9.0%
9	眼科	2	3.0%
10	皮膚科	4	6.0%
11	泌尿器科	1	1.5%
12	耳鼻咽喉科	6	9.0%
13	精神・神経科	1	1.5%
14	放射線科	2	3.0%
16	脳神経外科	3	4.5%
17	腎透析部	1	1.5%
19	救急部	1	1.5%
99	その他	1	1.5%

合計

67

レジデント・研修医診療科

1	内科	6	33.3%
2	外科	1	5.6%
7	小児科	1	5.6%
8	産婦人科	1	5.6%
15	歯科・口腔外科	1	5.6%
19	救急部	7	38.9%
99	その他	1	5.6%

合計

18

清掃・洗濯・廃棄等の医療関連サービスの種別

2	洗浄・滅菌業務担当者(委託業者含む)	1	100.0%
---	--------------------	---	--------

合計

1

4. 発生場所

1	病室(集中治療室を除く)	76	24.5%
2	病棟病室外	14	4.5%
3	救急部門	16	5.2%
4	集中治療部(術後回復室を含む)	27	8.7%
5	手術部	101	32.6%
6	外来診察室(処置室)	9	2.9%
8	採血室	3	1.0%
10	特殊検査室(放射線・内視鏡・CT・心カテ・筋電図等の検査室)	39	12.6%
11	臨床検査部	8	2.6%
12	病理部	2	0.6%
14	分娩室	7	2.3%
17	化学療法センター	1	0.3%

合計 310

発生場所詳細(病室)

1		3	10.3%
2		2	6.9%
3		2	6.9%
5		1	3.4%
99	その他	21	72.4%
合計		29	

発生場所詳細(病棟病室外)

1	廊下	1	10.0%
2	ナースステーション	1	10.0%
3	処置室	7	70.0%
99	その他	1	10.0%
合計		10	

発生場所詳細(外来診療室)

4	整形外科	1	16.7%
7	小児科	1	16.7%
10	皮膚科	2	33.3%
11	泌尿器科	1	16.7%
15	歯科・口腔外科	1	16.7%
合計		6	

発生場所詳細(病理部)

1	病理検査室	1	100.0%
合計		1	

5. 患者の確定

1	はい	302	98.1%
2	いいえ	3	1.0%
3	適切な回答なし(患者への使用前など)	3	1.0%
合計		308	

患者区分

1	入院	252	87.2%
2	救急外来	14	4.8%
3	外来(救急除く)	23	8.0%
合計		289	

確定患者の検査結果

感染症名	陽性	陰性	未検査	計
HIV抗体	5	261	21	287
HCV抗体	37	248	4	289

HBs抗原	21	265	3	289
HBe抗原	0	88	175	263
梅毒	10	209	53	272
ATLA	3	104	152	259

6. 曝露した体液

種別	血液等	吐物	痰	唾液	脳脊髄液	腹水	胸水	羊水	尿	不明	その他	計
計	226	7	16	16	4	4	1	7	6	0	42	296
	76%	2%	5%	5%	1%	1%	0%	2%	2%	—	14%	

7. 曝露組織・状態

部分	無傷な皮膚	傷のある皮膚	眼	鼻	口	その他	計
計	61	33	242	2	1	8	297
	21%	11%	81%	1%	0%	3%	

8. 曝露時の状況

区分	防備していない 皮膚・粘膜に触	防衣の隙間等の 皮膚に触れた	防衣又は防具を 浸透して触れた	白衣などの衣類 を浸透して触れ	計
計	221	68	6	3	292
	76%	23%	2%	1%	

9. 曝露時の防衣・防具

1 手袋なし	38	13%	8 手術用マスク	79	27%
2 一重のゴム手袋	185	63%	9 眼保護付手術用マスク	1	0%
3 二重のゴム手袋	41	14%	10 手術用ガウン	21	7%
4 ゴーグル	37	13%	11 ガウン(プラスチック/ビニール)	20	7%
5 眼鏡	54	18%	14 エプロン(プラスチック/ビニール)	16	5%
6 側面保護眼鏡	6	2%	12 検査実験衣布地	6	2%
7 フェイスシールド	17	6%	99 その他	28	10%
計				293	

10. 曝露理由

1 患者から直接に	89	30.4%
2 検体容器から漏れて/こぼれて	36	12.3%
3 検体容器が壊れて	1	0.3%
4 チューブ(血液、吸引、ドレイン、その他)バッグ/ポンプ から漏れて	42	14.3%
5 破れた手袋、ガウン等をとおして	1	0.3%
6 気管/鼻腔栄養/その他のチューブが外れて、漏れて	14	4.8%
7 その他の体液容器からこぼれて/漏れて(吸引ビン等)	17	5.8%
8 血液検体に接触していた器材に触れて	8	2.7%
9 血液検体に接触していた覆布/シーツ/ガウン等に触れて	1	0.3%

10	その他、装置の誤作動や誤操作	6	2.0%
99	その他	78	26.6%
合計		293	

11. 曝露時間

1	5分未満	232	78.9%
2	5～14分間	44	15.0%
3	15分以上1時間未満	9	3.1%
4	1時間以上	9	3.1%
合計		294	

12. 曝露量

1	少量(5cc未満)	264	91.0%
2	中等量(5～50cc)	19	6.6%
3	大量(50cc以上)	7	2.4%
合計		290	

13. 曝露部位 (表示されている内訳は部位1に入力されている値で分類表示)

右手背	8	2.7%
右手掌	7	2.4%
左手掌	5	1.7%
左手背	6	2.0%
前面 右手首	3	1.0%
前面 右前腕	4	1.4%
前面 右上腕	3	1.0%
前面 右顔面	152	51.4%
前面 右胸腹部	2	0.7%
前面 右下腿部	2	0.7%
前面 右足背部	1	0.3%
前面 左顔面	93	31.4%
前面 左胸腹部	4	1.4%
前面 左上腕	3	1.0%
前面 左前腕	3	1.0%
合計	296	

14. HBs抗体

1	はい(ワクチン接種により10mIU/mL以上になったことがある)	243	82.1%
2	はい(自然陽転あるいは既往疾患などにより10mIU/mL以上になったことが	2	0.7%
3	いいえ	29	9.8%
4	不明	22	7.4%
合計		296	

15. 緊急処置時曝露

1	はい	23	7.8%
2	いいえ	273	92.2%
合計		296	

受傷・曝露による損失経費	総計	285,474 円
--------------	----	-----------

■ 検査費用（HB、HCV、HIV、肝機能など）		
1) 該当患者に実施した検査	118,734 円	
2) 受傷者に実施した検査	166,740 円	
■ 業務中断／職場離脱	0円	
小計	285,474 円	
■ 代務採用経費	0 円	
合計	285,474 円	
■ 感染・発症予防措置の費用		
（HB免疫グロブリン、抗HIV予防投薬など）	0 円	
■ 発症後の治療費用	0 円	

公労災の申請をしたもの

1	はい	36	40.0%
2	いいえ	54	60.0%
合計		90	

公労災の認定状況

1	はい	15	93.8%
2	いいえ	1	6.3%
合計		16	

受傷・曝露による損失勤務

病休日数	0.00 日
就業制限	0.00 日
計	0.00 日